

厚生文教委員会協議会における主な質問及び答弁等について

項番	質問	答弁	対応状況、今後の対応
1	<p>北松尾幼稚園と北松尾保育園の認定こども園化については、元々の計画である「あり方に基づく整備方針」では、「当面は現状で運営し施設の老朽化に伴う建替え時に認定こども園として再整備を図る」と定めていた。</p> <p>認定こども園化を前倒しする理由として、北松尾幼稚園の園児数が少なくなったことが大きな理由、とのことだが、急な変更でもあり、ご不安になる保護者も少なくないかと思う。</p> <p>改めて、前倒しする理由を教えてください。</p>	<p>大きな理由は、北松尾幼稚園の園児数の減少。令和6年4月の園児数が13人となり、適正な集団教育が確保出来ない状況となる恐れがあることから、北松尾保育園と統合し、認定こども園化するもの。</p> <p>また、もうひとつの理由として、北松尾幼稚園と北松尾保育園の両方の園舎を有効活用することで、0歳から2歳の定員を増加し、中部地域の待機児童・保留児童に対する一定の対策とすることが出来る点もあげられる。</p>	同左
2	<p>和泉市では、「あり方」や「整備方針」とは別に、大きな市の計画として「創発プラン」において、施設の統廃合など、重要な内容を定めていると思うが、今回の北松尾幼稚園と北松尾保育園の認定こども園化については、定められていない。どのように位置づけていくのか、教えてください。</p>	<p>今回の認定こども園化については、既存の園舎を除却し、新たな施設を整備するような多額の費用を要して新たな施設整備を行うものではなく、既存施設を活用しながら、認定こども園化を行おうとするもの。</p> <p>については、和泉創発プランで進行管理している中長期の財政収支見通しに大きな影響が想定されないと判断し、和泉創発プランへの位置づけは要しないと関係部局と整理している。</p>	同左
3	<p>創発プランに位置付ける予定がないということだが、今回の認定こども園化は、保護者や園児にとっては大きな影響を及ぼす内容だと考えるので、本来であれば、先に、創発プランにも位置付けたうえで、保護者にも十分にご理解をいただくことが重要だと考える。</p> <p>令和8年4月に認定こども園化するというのは、あまりにも急だという印象を持たざるをえない。</p> <p>あと、今後のスケジュールについても改めてお聞きしたい。</p>	<p>既に庁内における政策調整委員会は開催しているところ、今回の協議会報告後、7月開催予定の庁議にて最終的意思決定を整理する予定。</p> <p>その後、8月頃には、保護者と地域の方向けの説明会を予定しており、再来年の令和8年4月から認定こども園化を行うこと、9月より配布を開始する来年度向けの入園案内などに「令和8年4月からの認定こども園化予定」を明記することについて、周知をする予定。</p> <p>また、令和7年第1回定例会において、認定こども園設置条例案や認定こども園化に伴う工事の予算案などを提出し、令和7年度に必要な改修工事を行い、令和8年4月の開園を目指す。</p>	<p>以下のスケジュールを予定</p> <p>令和6年度 7月11日 庁議 8月24日 園での保護者・地域の方向け説明会 9月～ 令和7年度向け入園案内配布開始 2月 第1回定例会（条例制定、予算案）</p> <p>令和7年度 改修工事 令和8年度 開園</p>